

(封筒表)

「山田顯義様 一戸兵衛

枢要

」

遂度旨方々へも解陣

仕候得共、不能其儀

遺憾千万ニ奉存候、

併シ精心ヲ失ハサル時ハ

何日カ又上京素志ヲ

達スルノ期モ可申上御座候ト

愚考仕、速カニ向地へ赴キ

刻苦勉励精勤仕

度心底ニ決然付候、

大先生ニ於テモ明鑑

愚衷御賢察被成

下度奉懇願候、

追々時下炎暑之天ナラントス、

大先生御自愛御專

一被遊度奉祈願候、恐惶

謹言

四月廿六日

兵衛

九拝

山田大先生

玉牀下

初メ当京滞留之志願

衆口奉陳上候、

ヲ憚ラス書面ヲ以

ヲ煩ヲ恐ル故ニ忌諱

且為堂却テ尊位

謝之処、事急迫ニ相成、

発程付候為上奉礼

附被申付、昨日当地

附ニ而宇都宮宮所

今般東京鎮台

奉存候、然者衆生兵衛

恐悦至極之御儀ニ

機嫌能被為遊候段

追々炎暑ニ相赴キ候

一翰奉呈候処、時下

得共御満堂益御

」